

日本地理学会シンポジウム（公開・無料）

災害と子どもたちの教育を考える
—東日本大震災被災学校の現在とこれからの地理学・地理教育—

主催：（社）日本地理学会（地理教育専門委員会）

開催趣旨・目的：

- ①東日本大震災被災地域の学校教育の実態について、現地報告をもとに理解を深める。
- ②地理学会の支援活動について、現段階での総括を行う。
- ③地理学・地理教育関係学界が、今後為すべきことに関し議論し、展望を得る。

開催日時：3月4日（日）13：30～16：30

会場：慶應義塾大学三田キャンパス西校舎527教室

シンポジウム全体構成

I：被災地域・学校からの報告

- ①本多準一郎氏（岩手県陸前高田市広田中学校教諭）
- ②伊藤正治氏（岩手県大槌町教育長）
- ③梅津譲氏（宮城県立仙台南高等学校教諭）
- ④長池裕美氏（福島県立双葉高等学校あさか開成サテライト教諭）

II：地理学・地理教育関係者の発言・提案

- ①熊木洋太氏（専修大学文学部教授）
- ②山川充夫氏（福島大学経済経営学類教授）
- ③山崎憲治氏（岩手大学大学教育総合センター教授）

III：全体討論